



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月7日

上場会社名 株式会社ニチイ学館 上場取引所 東  
 コード番号 9792 URL https://www.nichiigakkan.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 信介  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理本部長代理 (氏名) 椎谷 和也 TEL 03-3291-2121  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	223,471	3.6	9,444	28.7	6,083	50.4	3,378	60.3
2019年3月期第3四半期	215,723	1.3	7,336	23.0	4,043	34.1	2,107	23.7

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,576百万円 (62.0%) 2019年3月期第3四半期 2,208百万円 (31.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	52.48	52.00
2019年3月期第3四半期	32.79	32.71

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	193,989	42,234	21.1
2019年3月期	193,640	41,077	20.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 41,019百万円 2019年3月期 39,986百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2020年3月期	—	20.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	298,600	3.7	13,300	32.6	8,700	52.5	4,700	△23.1	73.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	73,017,952株	2019年3月期	73,017,952株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	8,600,202株	2019年3月期	8,671,247株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	64,381,984株	2019年3月期3Q	64,270,038株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

ニチイグループでは、「社会の課題解決に向けた貢献と長期利益の安定成長を実現し、グローバルに貢献するエクセレントカンパニーを目指す」というビジョンのもと、持続的成長の実現を目指した取り組みを進めております。

当第3四半期連結累計期間においては、「ビジョン実現推進プロジェクト(VIPRO)」による現場社員から経営層までが一体となって取り組む事業改革や、「教育から就業まで」という現有ビジネスモデルの強化、教育事業・グローバル(中国)事業の構造改革に取り組んでまいりました。また、介護事業への成長投資や、スタッフの処遇改善、外国人スタッフの受け入れに係る人材投資等、将来を見据えた成長戦略を押し進めてまいりました。

売上高については、医療関連事業における契約適正化や、介護事業・保育事業における施設稼働率向上に向けた継続的なアプローチが、増収を牽引しました。

営業利益については、教育事業・中国事業における展開エリア及びサービスの「選択と集中」による効率化や、医療関連事業における生産性の向上が、収益性改善に寄与しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は223,471百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益は9,444百万円(前年同期比28.7%増)、経常利益は6,083百万円(前年同期比50.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,378百万円(前年同期比60.3%増)となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりです。

## &lt;医療関連部門&gt;

売上高85,593百万円(前年同期80,729百万円) 営業利益7,190百万円(前年同期6,693百万円)

既受託医療機関における業務量調査及び分析のもと、業務効率化や労働時間の適正化に加え、契約適正化に向けた交渉を継続してまいりました。また、全国ネットワークを活かした情報力による提案力の強化を図り、期中の新規案件獲得に努めてまいりました。

医療事務講座については、受講生数は堅調に推移し、引き続き就業へのアプローチを強化してまいりました。

この結果、契約適正化交渉によるユーザー単価の上昇により、増収・増益となりました。

## &lt;介護部門&gt;

売上高115,606百万円(前年同期114,148百万円) 営業利益12,183百万円(前年同期12,474百万円)

在宅系介護部門では、地域包括ケアシステムの構築に資する成長戦略として、訪問介護拠点の分割によるサービス供給体制の再整備を進めております。2019年12月末時点で380拠点の新設を完了、訪問介護1,383拠点体制とし、運営体制の整備、管理体制の強化についても取り組んでまいりました。

居住系介護部門では、10月に有料老人ホームを1拠点、11月にグループホームを1拠点開設するとともに、利用者退去後の空き期間の短縮化を図り、稼働率向上に努めてまいりました。

介護教育部門では、キャンペーンの活用による受講生獲得に注力し、介護職員初任者研修の受講生数は前年同期比で16.0%伸長となりました。

この結果、売上高は、居住系介護施設の稼働率の更なる上昇により増収となりました。営業利益は、訪問介護拠点の分割に伴う先行費用の発生により減益となりました。

## &lt;保育部門&gt;

売上高10,709百万円(前年同期8,739百万円) 営業損失393百万円(前年同期は営業損失229百万円)

女性活躍推進や待機児童問題解消の一助となるべく、保育施設の拡充を進めております。当四半期(10月~12月)においては、保育施設を4カ所新設し、全国303カ所での展開となりました。2020年4月からの新規開園に向けた準備を進めるとともに、企業主導型保育事業の案件獲得に向けた営業推進を行ってまいりました。

この結果、売上高は、地域に密着した営業強化や拠点拡大による園児数増加により、増収となりました。営業利益は、人件費の上昇により営業損失拡大となりましたが、当四半期連結会計期間における営業利益は、園の稼働率向上により改善し、黒字となりました。

## &lt;ヘルスケア部門&gt;

売上高1,299百万円(前年同期1,228百万円) 営業損失1,488百万円(前年同期は営業損失707百万円)

家事・育児・家族介護の代行サービス「ニチイライフ」、及び国家戦略特区における家事代行サービス「サニーメイドサービス」の2ブランドを展開しております。年末の大掃除需要を追い風とした新規利用者獲得や、サービスの質向上、定期プラン移行に繋げる営業力強化に努めてまいりました。

また、介護資格保有スタッフが介護サービスと家事代行サービスを兼務する体制から、介護サービスに専念できる体制を構築するため、外国人スタッフ受け入れに係る人材投資を進めております。

この結果、売上高は、季節需要への積極的なアプローチによる利用者数の増加により、増収となりました。営業利益は、人材投資費用が先行し、営業損失拡大となりました。

<教育部門>

売上高8,326百万円(前年同期8,911百万円) 営業損失323百万円(前年同期は営業損失2,761百万円)

前期より構造改革として進めてまいりましたCOCO塾事業からの撤退を完了し、現在フランチャイズ教室及びニューヨーク大学プロフェッショナル教育東京の閉鎖(2020年3月末)に向けた準備を進めております。

株式会社GABA(以下、GABA)においては、Gabaマンツーマン英会話の受講生数拡大に向け、レッスンや受講生サポート体制の質向上、テレビCM等を活用したプロモーション、法人営業強化に努めてまいりました。

この結果、旧COCO塾教室の閉鎖に伴う受講生数減により減収となりましたが、固定費の削減やGABAの利益改善により、営業損失縮小となりました。

<セラピー部門>

売上高450百万円(前年同期304百万円) 営業損失121百万円(前年同期は営業損失276百万円)

ドッグサロン&ホテル「A-LOVE(エラブ)」を展開しております。年末年始の需要を捉えたキャンペーンや特別コースの提供等を行い、利用者拡大に努めてまいりました。また、顧客それぞれのニーズを汲み取り、最適なオプションサービスの提案に努めることで、客単価向上に繋げてまいりました。

この結果、年末年始の販促効果による利用者数の増加や、顧客単価の上昇により増収・営業損失縮小となりました。

<グローバル部門>

売上高1,245百万円(前年同期1,437百万円) 営業損失406百万円(前年同期は営業損失1,107百万円)

中国経済の中心である華北エリアに集中した営業展開により、認知症対応型介護施設の運営受託や、日本式介護研修の案件獲得に向けた販促強化を進めています。中国における介護ビジネスの展開が進む中、介護施設の設計や運営に係るコンサルティング案件の契約を獲得する等、効果が表われ始めるところとなりました。

この結果、前期に実施した組織再編に伴う拠点縮小より減収となりましたが、展開拠点の選択と集中による業務効率改善が奏功し、営業損失縮小となりました。

<その他>

売上高239百万円(前年同期223百万円) 営業利益151百万円(前年同期173百万円)

ニチイグループ間のシナジーを活用した業務効率の向上や収益改善を図り、増収・減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ348百万円増加し、193,989百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加などにより流動資産が2,655百万円増加し、のれんの減少などにより固定資産が2,307百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ808百万円減少し、151,754百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加などにより流動負債が2,128百万円増加し、長期借入金の減少などにより固定負債が2,937百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,157百万円増加し、42,234百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年11月12日に発表した連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,255,916	17,580,179
受取手形及び売掛金	33,434,278	36,559,658
有価証券	256,310	241,007
商品及び製品	364,426	511,277
仕掛品	11,159	40,966
原材料及び貯蔵品	175,533	181,076
その他	13,291,468	13,306,451
貸倒引当金	△104,166	△80,390
流動資産合計	65,684,926	68,340,225
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,950,524	21,419,858
リース資産(純額)	49,992,221	51,359,069
その他(純額)	10,369,489	9,857,713
有形固定資産合計	82,312,235	82,636,642
無形固定資産		
のれん	9,120,932	7,818,983
その他	3,977,138	4,055,072
無形固定資産合計	13,098,071	11,874,055
投資その他の資産		
その他	32,790,254	31,368,556
貸倒引当金	△244,715	△230,449
投資その他の資産合計	32,545,539	31,138,106
固定資産合計	127,955,845	125,648,804
資産合計	193,640,771	193,989,030
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	747,571	2,303,592
短期借入金	2,512,273	5,360,272
未払法人税等	2,941,364	627,240
未払費用	17,914,622	20,332,255
賞与引当金	5,937,697	3,024,339
役員賞与引当金	36,000	5,810
構造改革引当金	486,086	—
その他	30,088,847	31,139,452
流動負債合計	60,664,463	62,792,963
固定負債		
長期借入金	15,998,372	10,678,412
リース債務	57,113,991	59,098,223
退職給付に係る負債	7,742,022	8,023,454
資産除去債務	3,582,707	3,696,843
その他	7,461,436	7,464,301
固定負債合計	91,898,531	88,961,234
負債合計	152,562,995	151,754,197

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,933,790	11,933,790
資本剰余金	17,009,418	17,066,109
利益剰余金	22,867,282	23,467,655
自己株式	△11,177,438	△10,980,538
株主資本合計	40,633,052	41,487,016
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,481	13,880
為替換算調整勘定	△244,124	△205,115
退職給付に係る調整累計額	△414,813	△275,782
その他の包括利益累計額合計	△646,456	△467,017
新株予約権	605,781	637,136
非支配株主持分	485,398	577,696
純資産合計	41,077,776	42,234,832
負債純資産合計	193,640,771	193,989,030

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	215,723,471	223,471,719
売上原価	172,805,016	179,013,283
売上総利益	42,918,455	44,458,435
販売費及び一般管理費	35,581,463	35,014,249
営業利益	7,336,991	9,444,185
営業外収益		
受取利息	107,395	102,689
受取賃貸収入	149,219	143,502
補助金収入	15,236	35,932
持分法による投資利益	40,477	77,646
その他	279,256	295,567
営業外収益合計	591,586	655,339
営業外費用		
支払利息	3,654,759	3,778,254
賃貸費用	19,181	24,238
その他	210,744	213,960
営業外費用合計	3,884,685	4,016,453
経常利益	4,043,892	6,083,071
特別利益		
固定資産売却益	—	68
関係会社出資金売却益	137,114	—
新株予約権戻入益	1,691	—
その他	652	—
特別利益合計	139,458	68
特別損失		
固定資産除却損	63,643	101,000
固定資産売却損	1,787	—
投資有価証券売却損	149,705	—
関係会社出資金売却損	305,191	—
構造改革費用	—	734,791
その他	1,035	53,959
特別損失合計	521,363	889,751
税金等調整前四半期純利益	3,661,987	5,193,388
法人税、住民税及び事業税	1,569,089	1,431,899
法人税等調整額	8,475	361,242
法人税等合計	1,577,565	1,793,142
四半期純利益	2,084,421	3,400,246
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△23,001	21,540
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,107,423	3,378,706



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	2,084,421	3,400,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,859	1,258
為替換算調整勘定	△14,333	35,574
退職給付に係る調整額	144,862	139,030
その他の包括利益合計	123,668	175,863
四半期包括利益	2,208,090	3,576,109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,243,955	3,557,944
非支配株主に係る四半期包括利益	△35,864	18,165

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。